

一七月十三日付光田進業・堀部久勝・武節貫
治宛大東義徹書簡一

拜啓炎暑酷烈
之處各位御安健奉恭
賀候扱帰県之際ハ毎々
眷顧ヲ恭フシ感謝
ニテ從是ハ兎角失恭ノミ
御宥恕可被下候分口（操カ）後
竈手田面会之實際ハ
堀部君ヨリ御伝承被下候事ト
推測致候ニ付頗末相省キ
申候京阪ニテ谷田部等ニ対
シ諸有志御奮発民力相
応学資募集致し候ニ付
義務金中ヨリ一部分之補
助井伊公へ請求之候云々申話候
処何レモ同意ヲ表セラレ候ニ付則
過般一寸御報道申上候通り去ル
六日神港発錨八日東
帰仕候即日廻檣西村及
東京諸同志ヲ井伊家ニ会シ
在彦中之景況ヲ陳述シ益
ヲ申話ノ要点補助金一
部分ヲ井伊公へ請願スルノ
一決ニ相運ひ候間速ニ御約定
申上置候通り貴地人民負担之
ノ決意ヲ以テ人民一同ヨリ
井伊公へ請願書ハ廻シ有之度
内実既ニ如此周旋行届候

事情ニハ候得共表面之処
ハ如此ナラサレハ名義之干スル
処不都合ニ付至極毎々御取分可
被降候漢学主任ノ教師
及其他此度之要点ヲ談スル
為来ル日曜日則十八日再ひ井
伊家ニ会シ諸般之決議ヲ
執ルノ運ひニ付御如才も有之
間敷候得共多分御奮発精
々投機之御尽力賞賛ノ
至ニ奉存候不取敢掃
来之事情御報道耳申上度
一寸楮啓呈頓首
七月十三日 大東義徹
光田進業様
堀部久勝様
武節貫治様
序次不同御免外御同
志諸君へも宣布

一 七月十三日付光田進業・堀部久勝・武節貫
治宛大東義徹書簡一

拝啓、炎暑酷烈之處、各位御安健奉恭賀候、
扱帰県之際ハ毎々眷顧ヲ恭フシ感謝ニテ從是
ハ兎角失恭ノミ御宥恕可被下候、分□「操カ」
後筆手田面会之實際ハ、堀部君ヨリ御伝承被
下候事ト推測致候ニ付、願末相省キ申候、京
阪ニテ谷田部等ニ対シ諸有志御奮発民力相応
学資募集致し候ニ付、義務金中ヨリ一部分之
補助井伊公へ請求之候云々、申話候処、何レ
モ同意ヲ表セラレ候ニ付、則過般一寸御報道
申上候通り、去ル六日神港発船、八日東帰仕
候、即日廻檣、西村及東京諸同志ヲ井伊家ニ
会シ、在彦中之景況ヲ陳述シ益ヲ申、話ノ要
点補助金一部分ヲ井伊公へ請願スルノ一決ニ
相運ひ候間、速ニ御約定申上置候通り、貴地
人民負担之ノ決意ヲ以テ、人民一同ヨリ井伊
公へ請願書ハ廻シ有之度、内実既ニ如此周旋
行届候事情ニハ候得共、表面之処ハ如此ナラ
サレハ、名義之干スル処不都合ニ付、至極毎々
御取分可被降候、漢学主任ノ教師及其他此度
之要点ヲ談スル為、来ル日曜日則十八日、再
ひ井伊家ニ会シ諸般之決議ヲ執ルノ運ひニ付
御如才も有之間敷候得共、多分御奮発、精々
投機之御尽力賞賛ノ至ニ奉存候、不取敢帰来
之事情御報道耳申上度、一寸楮啓呈頓首
光田進業様
堀部久勝様
武節貫治様

序次不同御免外御同志諸君へも宣布

凡例

- 一、旧字体・異体字・略字・俗字等は、原則として新字体・正字に改めた。
- 二、変体仮名・合字等は、通常使用されている平仮名に改めた。
- 三、翻刻者による注記は「 」で示した。
- 四、虫損箇所及び判読できなかった箇所については□もしくはは文字数が不明不明な場合は「 」で示した。

翻刻担当者名・所属

杉浦由香里（滋賀県立大学人間文化学部）
山下廉太郎（朝日大学教職課程センター）